

科目名	基礎デザイン							年度	2024
英語科目名	Creative Design Practice							学期	前期
学科・学年	建築学科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	真田 一穂	教員の実務経験	有	実務経験の職種		建築設計			
【科目の目的】									
・幾何学立体を観察し、形態を正しく描き、陰影や素材感をとらえてデッサンすることができる ・アクソメ図やアイソメ図、さらにパースについて理解し立体的に描くことができる ・美しく平面構成する方法を理解し、プレゼンテーションシートを平面構成することができる									
【科目の概要】									
形態・陰影・素材感をよく観察し、平面上に正確にデッサンする技術を習得する 立体的な建築空間を表現する際に用いられるアクソメ図、アイソメ図の描き方を習得する 建築・インテリアの空間のポイントをとらえ、1 消点および2 消点のパースの描き方を習得する									
【到達目標】									
A. 形態・陰影・素材感を観察し、正確にデッサンできる B. アクソメ図、アイソメ図を理解し描くことができる C. 1 消点および2 消点のパースを理解し描くことができる									
【授業の注意点】									
評価は出席状況や提出状況と成果物をルーブリックにもとづいて行い、講評会においても評価を行う。 学生による自己評価及び相互評価も実施し、評価に勘案する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう				レベル1 要努力			
到達目標 A	鋭い観察眼から形態を正確にとらえ、ハッチングで陰影や素材感を精緻にデッサンすることができる	形態をとらえるように努力し、ハッチングで陰影や素材感をデッサンすることができる				形態をとらえるように努力せず、ハッチングで陰影や素材感をデッサンすることができていない			
到達目標 B	アクソメ図、アイソメ図で縮尺を定めた精緻な立体図を描くことができる	アクソメ図、アイソメ図で縮尺を定めた立体図を描くことができる				アクソメ図、アイソメ図を理解しておらず、描くことができていない			
到達目標 C	1 消点や2 消点のパースで、空間のポイントを理解しつつ、魅力的な空間を描くことができる	遠近法を理解し1 消点や2 消点のパースで、空間を描くことができる				遠近法を理解しておらず、1 消点や2 消点のパースを描くことができていない			
【教科書】									
『図形ドリル 平面・立体表現の基礎を学ぶ』学芸出版社									
【参考資料】									
資料プリント									
【成績の評価方法・評価基準】									
授業への取り組み姿勢、出席状況、成果品とプレゼンテーション等で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		基礎デザイン			年度	2024
英語表記		Creative Design Practice			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	科目概要説明	科目の目的・内容を理解する	1 科目概要	科目の目的・内容を理解している	2	
	2 授業方法		他科目との関連や授業実施方法を理解している			
	第一課題 タングラム	形を構成し作る	3 タングラム	7種類のピースを構成し目標となる形をつくる		
2	第二課題 立方体の デッサン	立方体を観察し デッサンを描く	1 フォーム	面をハッチングしながらアタリをとる	2	
	2 マテリアル		ハッチングを重ね面の暗さと素材感を表現する			
	3 シャドウ		光源の位置から生まれる机上の影を描く			
3	第三課題 円柱の デッサン	円柱を観察し デッサンを描く	1 フォーム	面をハッチングしながらアタリをとる	2	
	2 マテリアル		ハッチングを重ね面の暗さと素材感を表現する			
	3 シャドウ		光源の位置から生まれる机上の影を描く			
4	第四課題 円錐の デッサン	円錐を観察し デッサンを描く	1 フォーム	面をハッチングしながらアタリをとる	2	
	2 マテリアル		ハッチングを重ね面の暗さと素材感を表現する			
	3 シャドウ		光源の位置から生まれる机上の影を描く			
5	第五課題 球体の デッサン	球体を観察し デッサンを描く	1 フォーム	面をハッチングしながらアタリをとる	2	
	2 マテリアル		ハッチングを重ね面の暗さと素材感を表現する			
	3 シャドウ		光源の位置から生まれる机上の影を描く			
6	第六課題 「陽の家」の アクソメ図	「陽の家」を アクソメ図で描く	1 平面図	平面図を60度と30度に傾けて下描きする	2	
2 壁・建具			壁・建具を寸法通り立ち上げて描く			
7			1 設備	設備を寸法通り立ち上げて描く	2	
			2 造作・家具	造作・家具を寸法通り立ち上げて描く		
8	第七課題 「陽の家」の アイソメ図	「陽の家」を アイソメ図で描く	1 平面図	平面図を左右とも30度傾けて下描きする	2	
			2 壁・建具	壁・建具を寸法通り立ち上げて描く		
9			1 設備	設備を寸法通り立ち上げて描く	2	
			2 造作・家具	造作・家具を寸法通り立ち上げて描く		
10	第八課題 建築パース (1 消点図 法)	名作建築①のパース スケッチを描く	1 透視図の解説	1 消点の透視図の仕組みや描き方を理解する	2	
	2 名作建築①の解説		名作建築①の動画を鑑賞し、ポイントを理解する			
	3 パース		地平線と消点をとらえ名作建築のパースを描く			
11	第九課題 建築パース (2 消点図 法)	名作建築②のパース スケッチを描く	1 透視図の解説	2 消点の透視図の仕組みや描き方を理解する	2	
	2 名作建築①の解説		名作建築①の動画を鑑賞し、ポイントを理解する			
	3 パース		地平線と消点をとらえ名作建築のパースを描く			
12	第十課題 建築の旅	名作建築①を訪ね 写真を撮りスケッチを描く	1 建築選び	名作建築①を選び設計者とポイントを調査する	2	
			2 建築訪問	名作建築①を実際に訪問し内部空間も見学する		
			3 写真とスケッチ	現地で建築写真を撮り、スケッチを描く		
13		名作建築②を訪ね 写真を撮りスケッチを描く	1 建築選び	名作建築②を選び設計者とポイントを調査する	2	
			2 建築訪問	名作建築②を実際に訪問し内部空間も見学する		
			3 写真とスケッチ	現地で建築写真を撮り、スケッチを描く		
14		名作建築③を訪ね 写真を撮りスケッチを描く	1 建築選び	名作建築③を選び設計者とポイントを調査する	2	
			2 建築訪問	名作建築③を実際に訪問し内部空間も見学する		
			3 写真とスケッチ	現地で建築写真を撮り、スケッチを描く		
15		名作建築④を訪ね 写真を撮りスケッチを描く	1 建築選び	名作建築④を選び設計者とポイントを調査する	2	
			2 建築訪問	名作建築④を実際に訪問し内部空間も見学する		
			3 写真とスケッチ	現地で建築写真を撮り、スケッチを描く		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						